

# 大阪府立 千里高等学校

## VUCAの時代の課題に向き合い、国を超えて協働できる 科学技術人材育成プログラム ～コア生徒グループの育成と考察力の強化を通じて全生徒の研究を高度化する～

Ⅲ期の取組み：

考察力強化で研究を高度化 + コア生徒の活動の再定義 + 校内外の／国際的な連携の構築

### Ⅱ期の主な成果

#### 課題発見力の向上

第1学年『科学探究基礎』において  
・ミニ課題研究の開始  
・2年生の発表を評価  
・文理交流機会の創出

#### 探究カルーブリックの開発と活用

第2学年『科学探究』における  
教員/自己/生徒間評価で

↓  
教員が統一的に伸びを評価  
生徒が適切に自己評価

#### コア生徒の育成

- ・活動の流れが整う
- ・他生徒の研究に好影響
- ・外部発表の増加

#### 学年・文理・国境をまたぐ 研究交流機会の設定

- ・3年生が経験を元に助言等
- ・国際シンポジウムの創設
- ・海外校との相互訪問等継続

### 1. 考察力重点育成 科学探究プログラムの開発

仮説：Ⅱ期で課題となった「考察力」育成にフォーカスした  
プログラムを開発する。

⇒総合科学科全員が確かな考察力を身につけ  
多段階の探究のサイクルをまわすことで  
Ⅱ期を超えた高度な研究を行う。

#### ▶「次の課題につなげるための考察力」育成プログラム開発

- ・第1学年－ミニ課題研究（考察力ワーク・大学生によるコメント）
- ・第2学年－探究のサイクルを繰り返させ、発展させる  
「考察＋大学院生等によるコメント」を用いた指導法
- ・考察を促し教員との対話を活性化する研究ポートフォリオ
- ・考察力を鍛え、育成するための探究カルーブリックの緻密化

#### ▶教員＋サポーターによる考察力指導體制の充実

- ・教員用に加え、院生・卒業生用別冊指導マニュアルを作成
- ・コア生徒への指導実践を通して教員が指導を学ぶ仕組み

#### ▶探究力を軸に教科連携を進める仕組みづくり

- ・「千里探究マップ」で、見える化・調整・有機的連携へと発展
- ・教科連携WGの設置

### 2. 全生徒の研究を牽引する コア生徒グループの育成

仮説：科学に強い関心を持つ生徒を広く集め、  
第1学年でグローバルな課題を素材に、  
研修・科学研究・考察・発表の経験を重ねる。  
⇒第2学年で全生徒の研究をリードし、モデルに。

- ・自治体や企業等から学び、現実の課題を出発点に  
解決策を追求するプロジェクト型の研究を展開
- ・複数の大学教員等から多角的なアプローチを学ぶ研修
- ・生徒が他校生と繋がる「研究交流プラットフォーム」構築

### 3. 校内外連携による国際的協働力の育成

仮説：科学研究の発表にフォーカスした英語の授業と  
各種の国際的な研究・交流イベントを提供する。  
⇒英語を使った研究の吸収力・発信力と  
グローバルなマインドセットが育つ。

- ・「科学研究のための英語授業」等の開発
- ・海外校との研究交流を共同研究に発展

探究力育成プログラム

生徒が高め合う手法



先駆  
牽引



スキルと  
マインド

